

創造・誇り・愛！ 輝く七中 ^{きら}煌めけ生徒！！



とらのき

立川市立立川第七中学校
校長 大神田佳明
学校だより
第3号

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

平成27年6月8日

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>

世界に目を向ける

「地球のステージ」講演会で学んだこと

校長 大神田佳明

5月23日の学校公開日に昨年に続いて、「地球のステージ2」の講演会を開催しました。講師の桑山紀彦氏は、日本で医師として診療を行いながら、NPO法人の代表として世界各国の混乱した地域や被災地で医療活動や支援活動を通して世界の人々のために活躍しています。講演では、イラン大地震で被災した地域での支援活動、パレスチナガザ地区の50日間戦争で傷ついた人々への医療活動、東ティモールの独立戦争で親を失った子どもたちへの支援活動等を、ギターの弾き語りや、現地で撮影した多くの写真や映像を交えてお話いただきました。さらに、東日本大震災の被災地、宮城県名取市閑上地区の被災者支援活動では、被災者の方々が自分の役割をもち、互いに支え合って地域の復興のために懸命に生きている姿を知ることができました。桑山氏は活動をする中で、相手のためと思って行っている支援活動が理解されず何度も「自分は必要とされていないのではないかと悩み落ち込むことがあったそうです。そこで、困難に直面したときには次の手立てを考えチャレンジすることで、自分の新しい可能性を見付けることができ、いくつもの困難を乗り越えてこられました。さらに、現地の子どもたちと触れあう中で、子どもたちの素直な笑顔が大人を励ます大きな力になったこととお話いただきました。今回の講演では、世界各地の困難な地域で懸命に生きている人々や、貧困や紛争の中で十分な教育を受けることができない子どもたちの現状を知ることによって、世界の国々へ目を向け関心をもつことができました。今後は、日本も含めて世界ではどのような課題があるのかを学び、自分ができることを考え、実行していく態度につなげてほしいと思います。講演の最後に講師の桑山氏から、「七中は清々しい挨拶ができる学校です。気持ちを込めて拍手をしてくれたことがとても嬉しいです。生徒が力を合わせて平和な学校をつくってください。」

というメッセージがありました。本校では、先日全校生徒でネパール地震への募金活動を行いました。今後もユニセフ募金活動などボランティア活動に取り組んでまいりますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



桑山氏（ギターの弾き語り）

ならば、今日という瞬間にタイムスリップ 奈良ば京都という瞬間に温故知新

3年生は、6月2日～4日まで、京都・奈良へ修学旅行に出かけました。初日は奈良公園の班行動、2日目は和服を着て京都市内班行動、3日目はクラス別行動で日本の伝統や文化を学習しました。和服を着て歩いていると、外国の観光客から声をかけられ、会話をしたり一緒に写真を撮ったりと親交を深めることができました。修学旅行中は、班長や室長を中心に5分前行動や、しおりを見ながら自主的に行動し、充実した3日間を過ごすことができました。また、友達と楽しく過ごした時間は中学校のよい思い出になったと思います。最終日に宿舎の方から、「生徒さんがみな気持ちよく挨拶をしてくれてとても嬉しかったです。」と七中生の良さを褒めていただきました。



左：奈良公園で 右：京都班行動（竜安寺）

『横田基地生徒との交流会』 5月15日(金)

一昨年度、英語部の生徒が横田基地を訪問する機会を得て、横田基地の生徒との交流が始まりました。今



年度は、横田基地の中学校で日本語の授業を履修している生徒22人が本校を訪問し、交流をすることができました。生徒たちはグループに分かれ、国語、英語、体育の授業に2時間参加し、その後、

3年生と体育館で交

流会をもちました。ランチタイムは3年生の各教室でスク

ールランチをとり、楽しい一時を過ごしました。横田基地の生徒からの「THANK YOU CARD」が生徒ホールの前に掲示されていますので、ぜひお読みください。すぐ隣にある横田基地、そこで暮らす同世代の子どもたちとの交流がこれからも続き、互いの文化を理解することに役だっていけたらいいと思います。

『薬物乱用防止教室』 5月18日(月)



立川警察署生活安全課の方をお招きして「薬物乱用防止教室」を行いました。以前「脱法ドラッグ」と呼ばれていたものが、現在では「危険ドラッグ」と呼ばれ、危険物であることがはっきり示されるようになりました。生徒の感想文抜粋を紹介します。

※ぼくは、講演会での説明を聞いて、何事にも強い心をもつことが大切だと思いました。理由は、友達などが危険ドラッグを勧めてきた時に、断る勇気や強い心がないと、自分までもが危険な目にあうからです。ぼくは、決断力がなく、決断できないことが多いので、これから強い心をもち、時には断れる勇気もも

てるように努力して、危険ドラッグには絶対に関わらないようにしたいです。そして、携帯電話については、正しい使い方をするようにして、正しく安全で便利な道具として使えるようにしたいです。(1年)

※今回の、薬物乱用防止教室を通して薬物の怖さが改めてよくわかりました。薬物は、ハーブや市販で売っているものと、見分けがつかないものがあるとわかったので、普段から外で知らない人からものをもらったりすることが絶対にならないようにしたいと思いました。夜おそくまで遊んだりして非行に走ったり、薬物に手をそめて、自分の夢や未来を壊してしまうようなことがないようにしたいです。(2年)

今年度の学校評議員の方のご紹介

※石井 直行 様 (元PTA会長)

※和田 政子 様 (西砂川青少健委員)

※宮崎 栄喜 様 (学校評議員)

※長谷川 由美子 様 (元PTA役員)

※藤宮 広行 様 (元PTA会長)

★ よろしくお願ひいたします ★

ネパール地震義援金募金活動 ～ ～ ～ ご協力ありがとうございました ～ ～ ～



5月25日～27日の朝の15分間、生徒会役員と2年学級委員が地震被害のあったネパールの支援のために募金活動を行いました。生徒たちが被災地のために自分たちに何ができるかを考え実行しました。多くの生徒や教員が協力して、3日間で15,934円集まりました。